

CASBEE Sapporo2014v1.2
苗穂整備場

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
	A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
配慮項目					評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境						0.34			3.0
1 音環境						3.0	0.15		3.0
1.1 騒音					発生する音源に対して、55%減衰させる防音壁を設けた	4.0	0.40		
1.2 遮音						3.0	0.40		
1 開口部遮音性能						3.0	0.60		
2 界壁遮音性能						3.0	0.40		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音						1.0	0.20		
2 温熱環境						2.4	0.35		2.4
2.1 室温制御						2.6	0.50		
1 室温						2.0	0.38		
2 外皮性能	A					3.0	0.25		
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38		
2.2 湿度制御						1.0	0.20		
2.3 空調方式						3.0	0.30		
3 光・視環境						3.0	0.25		3.0
3.1 昼光利用						3.0	0.30		
1 昼光率						3.0	0.60		
2 方位別開口									
3 昼光利用設備	A					3.0	0.40		
3.2 グレア対策						3.0	0.30		
1 昼光制御	A					3.0	1.00		
2 障り基盤対策									
3.3 照度						3.0	0.15		
3.4 照明制御						3.0	0.25		
4 空気質環境						4.1	0.25		4.1
4.1 発生源対策						5.0	0.50		
1 化学汚染物質					発生・排出はありません	5.0	1.00		
2 化学汚染物質									
4.2 換気						3.3	0.30		
1 換気量					法定必要換気量以上の設計換気量とした	4.0	0.33		
2 自然換気性能						3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33		
4.3 運用管理						3.0	0.20		
1 CO ₂ の監視						3.0	1.00		
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能							0.30		2.6
1 機能性						2.0	0.40		2.0
1.1 機能性・使いやすさ						1.6	0.40		
1 広さ・収納性						3.0	0.33		
2 高度情報通信設備対応						1.0	0.33		
3 バリアフリー計画						1.0	0.33		
1.2 心理性・快適性						2.0	0.30		
1 広さ感・景観						3.0	0.33		
2 リフレッシュスペース						2.0	0.33		
3 内装計画						1.0	0.33		
1.3 維持管理						2.5	0.30		
1 維持管理に配慮した設計						2.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		
3 維持管理業務									
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30		3.0
2.1 耐震・免震						3.0	0.50		
1 耐震性						3.0	0.80		
2 免震・制振性能						3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30		
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B					2.0	0.20		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B					3.0	0.10		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B					3.0	0.10		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B				原価償却年数15年	5.0	0.20		
6 主要設備機器の更新必要間隔	B					3.0	0.20		
2.4 信頼性						3.0	0.20		
1 空調・換気設備						3.0	0.20		
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20		
3 電気設備						1.0	0.20		
4 機械・配管支持方法					地震時対応するような支持を行っている	4.0	0.20		
5 通信・情報設備					災害時における防災無線の設置	4.0	0.20		
3 対応性・更新性						3.2	0.30		3.2
3.1 空間のゆとり						2.6	0.30		
1 階高のゆとり						3.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ						2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり						3.0	0.30		
3.3 設備の更新性						3.8	0.40		
1 空調配管の更新性					天井点検口の設置	4.0	0.20		
2 給排水管の更新性					PS・天井点検口の設置	4.0	0.20		
3 電気配線の更新性						3.0	0.10		
4 通信配線の更新性						3.0	0.10		
5 設備機器の更新性					配管ルートの確保	5.0	0.20		
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20		

CASBEE_Sapporo2014v1.2 苗穂整備場		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)										
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理		
配慮項目	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数						
Q3 室外環境(敷地内)														
1 生物環境の保全と創出			C		2.0	0.30								2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		2.0	0.40								2.0
3 地域性・アメニティへの配慮														
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	2.0	0.30								2.0
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C		2.0	0.50								2.0
LR 建築物の環境負荷低減性														
LR1 エネルギー														
BEI 非住宅 1.08 住宅(専有部) -														
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				3.0	0.07								3.0
2 自然エネルギー利用	A				3.0	0.12								3.0
3 設備システムの高効率化														
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				1.0	0.58								1.0
集合住宅の評価(3c)	A				1.0	1.00								1.0
4 効率的運用														
集合住宅以外の評価					3.0	0.23								3.0
4.1 モニタリング	A				3.0	1.00								3.0
4.2 運用管理体制	A				3.0	0.50								3.0
集合住宅の評価														
4.1 モニタリング	A													
4.2 運用管理体制	A													
LR2 資源・マテリアル														
1 水資源保護														
1.1 節水					3.0	0.20								3.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用														
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.40								3.0
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.60								3.0
2 非再生性資源の使用量削減														
2.1 材料使用量の削減		B			3.0	0.10								3.0
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B			3.0	0.20								3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			3.0	0.20								3.0
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			1.0	0.20								1.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B			2.0	0.10								2.0
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			4.0	0.20								4.0
3 汚染物質含有材料の使用回避														
3.1 有害物質を含まない材料の使用					5.0	0.30								5.0
3.2 フロン・ハロンの回避														
1 消火剤		B			3.5	0.70								3.5
2 発泡剤(断熱材等)		B			3.0	0.50								3.0
3 冷媒		B			4.0	0.50								4.0
LR3 敷地外環境														
1 地球温暖化への配慮														
1 地球温暖化への配慮		B			5.0	0.33								5.0
2 地域環境への配慮														
2.1 大気汚染防止		B			1.9	0.33								1.9
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D	3.0	0.25								3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制					1.0	0.50								1.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制														
1 雨水排水負荷低減		B			2.7	0.25								2.7
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25								3.0
3 交通負荷抑制					2.0	0.25								2.0
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	3.0	0.25								3.0
3 周辺環境への配慮														
3.1 騒音・振動・悪臭の防止														
1 騒音					2.1	0.33								2.1
2 振動					3.0	0.40								3.0
3 悪臭					3.0	0.33								3.0
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制														
1 風害の抑制					1.6	0.40								1.6
2 砂塵の抑制					1.0	0.70								1.0
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30								3.0
3.3 光害の抑制														
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					1.6	0.20								1.6
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					1.0	0.70								1.0
					3.0	0.30								3.0